

山梨県テニス協会創立 50 周年に寄せて



山梨県テニス協会

元副会長 西川 正 臣

協会発足 50 周年、おめでとうございます。

発足当時の様子を遠い昔の記憶ではありますが綴ってみたいと思います。

県内最初のクラブは、甲府ローンでした。その前後に石黒さんが吉田の方でクラブを作りました。土屋先生、崎田先生、新津さん、山田さん、小沢さん、猪狩さん、赤星先生、武川先生、石井先生、山崎さんなどテニスが上手な方々でした。

甲府クラブでは、望月さん、飯室さん、小沢さん、大堀さん、梶田さん（後飯室夫人）、西川でスタートしました。

機山ローンは、甘利さん、山下さん、天野さんら機山OBで発足しました。皆様本当に、テニスが大好きな方々でした。

当時、土屋先生、崎田先生は赴任先で高校テニス部を作り、馬場先生、小幡先生らの協力をいただきました。中学は繁君、仲沢君などが発展にご尽力いただきました。

当時の協会の運営は土屋先生、崎田先生におまかせ。事務所は両先生の自宅、農林中金の2階でした。書類は全部ガリ版刷り、携帯電話もありません。インクをつけ一枚一枚刷っていました。輪転機が出現した時は感動しました。そう言えば、室田先生からいただいたテニスの技術書もガリ版刷りでした。

試合、練習は緑が丘、梨大、機山、南高のコートでした。緑が丘のコートは、ベルトのフックがありませんでした。ある時、アイスペグを使ったところ、コートを壊すと注意され、ブロックを使った時もありました。当然シングルラインはありません。試合がある日は、役員で早朝、石灰でラインを引きました。軟式からクレームがきて、試合後消したこともありました。試合は3セット、審判有り、ラケットは木又は竹。よく壊れました。飯室さんが、カーボンのラケットを持ってきた時はびっくりしました。運営的には、コート整備、試合時間、審判の確保には苦勞しました。

テニスを始めて50余年、ほんとうにすばらしい方々にお世話になり、いい時間を過ごさせていただき、心から感謝しております。

時と共に記憶があいまいになり、もし失念誤記がありましたらどうぞお許しを。

テニス協会のますますの発展を祈願しております。